

- 講義名 水害対策まちづくり
- 講師 木内望 及び3名の特別講師
- 時間 18:40-21:35

授業はすべてオンラインでの実施

■講義の目的

気候変動の結果として都市における水害リスクの増大が世界的に懸念されている。この講義では、今後の都市計画のあり方を考えるための題材として、水害リスクをとりあげ、まちづくり手法による対策の課題と可能性について論じる。

■各回の構成

- ・各2コマを講義とディスカッションで構成
- ・一部の講義は外部の講師が行う
- ・今後、講義順等の詳細は変更する可能性がある

7/7(木)

- ・水害リスクとまちづくりに関わる基本事項について
(用語、他の災害との違い、被害実績、浸水想定、近年の動き等)
- ・水害対策まちづくりへのハザードマップの活用の可能性と課題
- ・ハザードマップを確認して考えてみよう

7/14(木)

- ・滋賀県の流域治水条例における取り組みなど(滋賀県立大:瀧准教授)
- ・土地利用・建築系の規制誘導制度における水害リスクへの対応
- ・特に、都市の広がりのコントロールと水害リスク
- ・講義に基づきディスカッション

7/21(木)

- ・建築・敷地レベルでの対策の可能性と課題(神奈川県立大学:田村客員教授)
- ・水害による建物被害・経済被害について
- ・費用対効果による対策の評価手法の紹介
- ・講義に基づきディスカッション

7/28(木)

- ・水害対策まちづくりに関する海外の仕組み、先進事例の紹介
(Environmental Design Studio: Edward Barsley氏を予定)
- ・水害対策に関するさまざまな事例・試み・提案など
- ・水害対策まちづくりに関する国内での先進事例の紹介

- ・リスクに応じた段階的な対策のあり方
- ・講義に基づきディスカッション

(以上)